



## 平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社スタジオアリス

コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川村 廣明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 山口 正信

TEL 06-6343-2600

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	5,371	10.1	△385	—	△401	—	△509	—
22年12月期第1四半期	4,878	5.2	△930	—	△925	—	△655	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	△29.66	—
22年12月期第1四半期	△38.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
23年12月期第1四半期	19,190	60.3	11,854	60.3	60.3	673.96
22年12月期	21,660	57.5	12,691	57.5	57.5	725.55

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 11,578百万円 22年12月期 12,464百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,100	2.7	△830	18.4	△880	16.0	△1,100	15.9	△64.00
通期	32,300	△1.6	4,950	3.5	4,860	4.5	1,930	60.0	112.34

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年12月期1Q	17,185,650株	22年12月期	17,185,650株
② 期末自己株式数	23年12月期1Q	6,258株	22年12月期	6,238株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年12月期1Q	17,179,407株	22年12月期1Q	17,179,583株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第1四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更 .....	8
(6) 表示方法の変更 .....	8
(7) 連結財務諸表に関する注記 .....	9
(セグメント情報) .....	9
(8) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、新興国向けの輸出を中心とした経済環境の改善により景気の回復基調の動きが見られるものの、雇用不安や個人所得の伸び悩みに加え、3月11日に発生した東日本大震災により、景気の先行きが見通せない状況となっております。

当社グループにおける東日本大震災の影響による店舗の状況につきましては、東北並びに関東地方で営業中の207店舗のうち、設備、備品等の損傷や入居しているショッピングセンターの建物等への被害により、当初68店舗が休業いたしました。店舗への被害が比較的軽微であったこともあり、当第1四半期連結会計期間末時点で55店舗が既に通常営業を再開しております。また、通常営業を行っていない13店舗のうち8店舗は、電話対応や商品の引渡しに限った営業を行っており、現在も通常営業の再開に向けて全力で取り組んでおります。

当該震災に伴う当第1四半期連結会計期間の特別損失におきましては、店舗の内装及び設備の補修やプロモーション活動の自粛に伴う費用等を災害損失として65百万円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は5,371百万円（前年同期比10.1%の増加）、営業損失は385百万円（対前年同期545百万円の損失減少）、経常損失は401百万円（対前年同期523百万円の損失減少）、四半期純損失は509百万円（対前年同期145百万円の損失減少）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (こども写真事業)

こども写真事業は、当社ブランドの核である「確かな品質」の向上を図るため、スタジオアリス・アカデミーにおいて、50種類以上の教育単元からなる新しい社内教育システムを確立し、3月から選択プログラム制の授業を開始いたしました。

新商品開発におきましては、入園入学撮影の増加を図るため、新規の背景と小物をセットで導入するとともに、入園入学をイメージしたデザインアルバムである「マイフォトコレクションステップ」を導入いたしました。

営業面におきましては、前年度に引き続き、毎月1日～7日の間、当社店舗を初めてご利用される0歳～1歳のお子様を対象とした「アリスデビュー」を実施するとともに、2月8日～3月13日の期間、1歳～7歳のお子様を対象とした「みんななかよし撮影会」を実施し、撮影件数の増加に努めました。

当期間におけるフランチャイズ店舗を含む全店の撮影件数は、前年同期比で115.0%の増加となり、開店1年以上経過した既存店の撮影件数は111.1%の増加となりました。

国内の出店状況は、移転2店舗を含み4店舗を出店し、次世代型への改装は22店舗実施いたしました。一方退店は、移転による2店舗を含み3店舗となりました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、国内こども写真館401店舗（直営店舗391店・フランチャイズ店舗10店）、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館4店舗、中国の子会社におけるこども写真館2店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館2店舗を含め、410店舗となっております。

以上の結果、こども写真事業の売上高は5,042百万円、セグメント損失は318百万円となりました。

#### (衣装製造卸売事業)

衣装製造卸売事業は、主力であるこども写真事業を競合他社とさらに差別化を進めるために、高品質でデザイン性の高い衣装を企画・生産していく一方で、上海久華紗工場の縫製技術の向上による生産コストの低減に取り組みました。

また、昨年12月に商品化契約を行った、世界的なフィギュアスケーターであります浅田真央選手のオリジナルブランドとなる「Mao Mao」ブランド和装の企画・生産に着手いたしました。

婚礼用ドレス事業におきましては、昨年12月15日に開示しておりますとおり、3月31日をもって事業を廃止いたしました。

以上の結果、衣装製造卸売事業の売上高は490百万円、セグメント損失は57百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ2,470百万円減少し19,190百万円となりました。

流動資産は、法人税等及び配当金の支払い等などにより、前連結会計年度末と比べ2,384百万円減少の8,120百万円となりました。

固定資産は、減価償却による有形固定資産の減少等などにより、前連結会計年度末と比べ85百万円減少の11,069百万円となりました。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,632百万円減少し7,336百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の増加、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ1,898百万円減少の6,108百万円となりました。

固定負債は、資産除去債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ265百万円増加の1,227百万円となりました。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ837百万円減少し11,854百万円となりました。

これは主に、当第1四半期純利益（損失）及び前年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,119百万円減少し、4,393百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、主に税金等調整前四半期純損失762百万円、法人税等の支払額1,364百万円、減価償却費593百万円などにより、前年同四半期連結会計期間に比べ168百万円増加し、1,449百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出535百万円などにより、前年同四半期連結会計期間に比べて84百万円減少し、508百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、主に短期借入金の増加額336百万円、配当金の支払額429百万円などにより、283百万円となりました。

前年同四半期連結会計期間においては、1,103百万円の資金の獲得でした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間までの業績は概ね当初計画どおり推移しており、平成23年2月9日に公表いたしました第2四半期連結会計期間及び通気の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

詳細は、添付資料P. 8「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」及び「表示方法の変更」をご覧ください。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,788,174	6,907,339
受取手形及び売掛金	871,489	1,085,193
商品及び製品	158,134	95,176
仕掛品	62,534	56,002
原材料及び貯蔵品	642,385	592,322
繰延税金資産	710,678	494,195
その他	953,617	1,336,594
貸倒引当金	△66,480	△62,200
流動資産合計	8,120,534	10,504,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,602,229	7,464,710
減価償却累計額	△3,729,109	△3,754,096
建物及び構築物(純額)	3,873,120	3,710,614
機械装置及び運搬具	778,958	774,193
減価償却累計額	△615,363	△600,698
機械装置及び運搬具(純額)	163,595	173,495
工具、器具及び備品	4,020,707	3,611,938
減価償却累計額	△2,944,126	△2,897,494
工具、器具及び備品(純額)	1,076,580	714,444
土地	650,076	650,076
リース資産	1,954,244	2,449,566
減価償却累計額	△1,277,903	△1,166,329
リース資産(純額)	676,340	1,283,237
建設仮勘定	4,735	5,527
有形固定資産合計	6,444,449	6,537,395
無形固定資産		
のれん	86,355	92,545
その他	490,629	510,001
無形固定資産合計	576,984	602,547
投資その他の資産		
投資有価証券	22,000	57,418
長期貸付金	200,000	200,000
繰延税金資産	1,066,512	983,115
敷金及び保証金	2,879,703	2,891,907
その他	12,091	12,338
貸倒引当金	△131,900	△128,900
投資その他の資産合計	4,048,407	4,015,880
固定資産合計	11,069,841	11,155,823
資産合計	19,190,376	21,660,448

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	324,840	435,555
短期借入金	2,150,000	1,813,600
1年内返済予定の長期借入金	73,332	—
未払法人税等	74,883	1,433,842
リース債務	894,765	1,129,220
事業整理損失引当金	203,692	460,000
賞与引当金	3,309	9,288
未払費用	963,736	1,208,635
その他	1,420,224	1,516,924
流動負債合計	6,108,783	8,007,067
固定負債		
退職給付引当金	360,648	353,593
長期借入金	91,669	—
リース債務	286,528	521,850
資産除去債務	359,121	—
その他	129,427	86,175
固定負債合計	1,227,395	961,619
負債合計	7,336,179	8,968,687
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	7,734,425	8,631,841
自己株式	△9,222	△9,206
株主資本合計	11,666,602	12,564,034
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△133
為替換算調整勘定	△88,306	△99,429
評価・換算差額等合計	△88,306	△99,563
少数株主持分	275,901	227,290
純資産合計	11,854,196	12,691,761
負債純資産合計	19,190,376	21,660,448

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	※2 4,878,440	※2 5,371,411
売上原価	4,396,561	4,429,743
売上総利益	481,879	941,668
販売費及び一般管理費	※1 1,412,378	※1 1,326,963
営業損失(△)	△930,499	△385,294
営業外収益		
受取利息	1,102	908
受取家賃	8,390	8,142
為替差益	9,332	—
受取手数料	5,038	—
雑収入	3,612	7,617
営業外収益合計	27,474	16,669
営業外費用		
支払利息	11,018	9,327
貸貸費用	5,080	—
店舗解約損	1,873	9,568
為替差損	—	8,478
雑損失	4,149	5,499
営業外費用合計	22,122	32,874
経常損失(△)	△925,147	△401,499
特別損失		
固定資産廃棄損	54,051	42,364
減損損失	19,685	4,603
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	249,231
災害による損失	—	65,141
特別損失合計	73,736	361,340
税金等調整前四半期純損失(△)	△998,883	△762,839
法人税、住民税及び事業税	40,671	42,569
法人税等調整額	△387,704	△310,114
法人税等合計	△347,033	△267,545
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△495,294
少数株主利益	3,659	14,315
四半期純損失(△)	△655,509	△509,610



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△998,883	△762,839
減価償却費	470,464	593,193
のれん償却額	23,544	6,190
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,000	7,010
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,544	△6,266
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,115	7,054
受取利息	△1,102	△908
支払利息	11,018	9,327
為替差損益 (△は益)	△5,165	4,844
有形固定資産廃棄損	50,948	41,801
減損損失	19,685	4,603
売上債権の増減額 (△は増加)	34,024	244,036
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△137,412	△128,895
仕入債務の増減額 (△は減少)	△89,241	△100,137
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△256,307
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	249,231
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△117,283	△113,906
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	296,955	398,228
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	14,459	△271,562
その他	△2,857	△870
小計	△427,275	△76,173
利息の受取額	680	482
利息の支払額	△11,018	△9,327
法人税等の支払額	△843,159	△1,364,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,280,772	△1,449,142
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△425,001	△443,370
無形固定資産の取得による支出	△70,260	△51,092
子会社株式の取得による支出	△35,000	—
差入保証金の差入による支出	△83,000	△40,880
差入保証金の回収による収入	20,418	28,157
その他	△392	△1,704
投資活動によるキャッシュ・フロー	△593,236	△508,890
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,550,000	336,400
長期借入金の返済による支出	—	△18,333
セール・アンド・リースバックによる収入	160,035	145,322
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△177,101	△317,094
自己株式の取得による支出	△88	△16
配当金の支払額	△429,491	△429,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,103,352	△283,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,211	△4,235
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△767,444	△2,245,474
現金及び現金同等物の期首残高	4,096,920	6,513,157
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	126,309
現金及び現金同等物の四半期末残高	*1 3,329,476	*1 4,393,992

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 当第1四半期連結会計期間より、株式会社豊匠は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 3社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>資産除去債務に関する会計基準の適用 当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。</p> <p>これにより、営業損失、経常損失は10,918千円増加し、税金等調整前四半期純損失は248,754千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は359,689千円であります。</p>

## (6) 表示方法の変更

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
(四半期連結損益計算書)	
1. 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示していません。	
2. 前第1四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「受取手数料」は、営業外収益の総額の100分の20以下となったため、当第1四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示することに変更いたしました。なお、当第1四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取手数料」は、1,638千円であります。	
3. 前第1四半期連結累計期間において区分掲記しておりました「賃貸費用」は、営業外費用の総額の100分の20以下となったため、当第1四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示することに変更いたしました。なお、当第1四半期連結累計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「賃貸費用」は、2,360千円であります。	

## (7) 連結財務諸表に関する注記

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはサービス及び製品別のセグメントから構成されており、スタジオ写真の撮影・制作・加工、ディスプレイ制作、印刷等を行う「こども写真事業」、撮影用衣装等の制作・販売等を行う「衣装製造卸売事業」の2つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成23年1月1日 至平成23年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	こども写真事業	衣装製造卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,042,032	329,379	5,371,411	—	5,371,411
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	160,761	160,761	△160,761	—
計	5,042,032	490,140	5,532,173	△160,761	5,371,411
セグメント利益 又は損失(△)	△318,676	△57,345	△376,021	△9,272	△385,294

(注) 1. セグメント利益調整額△9,272千円には、固定資産の調整額等45,131千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△54,404千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## (追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (8) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。